

事務事業評価表 平成24年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実  
 施策 健康づくりの推進  
 基本事業 施策の総合推進

事業名 **保健センター管理運営事業**

[5077]

部名	健康福祉部	事業開始年度	昭和5年度	実施計画事業認定	非対象
課名	保健センター	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 保健センター
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 施設の維持管理を適切に行う
	(事務事業の内容、やり方、手段) 施設管理を指定管理者に委託する。
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	施設数	箇所	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	指定管理委託料	千円	15,675	15,081	14,988	15,082
活動指標2						
成果指標1	不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	15,675	15,081	14,988	15,082
正職員人件費 (B)		千円	830	806	803	809
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		千円	16,505	15,887	15,791	15,891

費用内訳	
23年度	委託料 14,988千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	地域保健法第18条第2項で保健センターは住民に対し、地域保健に関し必要な事業を行うことを目的とする施設とされており、平成12年12月現センターがオープンし事業を開始。	事業を取り巻く環境変化	必要最小限の経費で管理運営しており、これ以上の節減は難しい。老朽化への対応を含めて、適切な施設運営のための補修費が必要となってきた。
--------	---	-------------	--

## 23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業  
 妥当である  
 妥当性が低い

理由・  
根拠は？

保健センターの施設を安全にかつ各事業に応じた管理運営を行うことは必要不可欠である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい  
 貢献度ふつう  
 貢献度小さい  
 基礎的事務事業

理由・  
根拠は？

各事業を遂行するうえで当施設の維持管理を行うことは利用目的及び予算面で見合ったものでなければならない。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている  
 どちらかといえばあがっている  
 あがらない

理由・  
根拠は？

施設の維持管理については、必要最低限の維持管理を行うが、時には利用者の要望があり、予算面から総てを網羅することは難しい状況であるが、今のところ成果は少しずつあがっている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大  
 成果向上余地 中  
 成果向上余地 小・なし

理由・  
根拠は？

予算面からこれ以上の維持管理向上の余地はないと考えている。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある  
 ない

理由・  
根拠は？

職員の経費節減の意識は徹底されており、これ以上の経費節減は望めない。